

昭和37年 第一号 目次 定価 2,000円

日本国憲法の基本問題

—神を捨てる民主主義—	増田福太郎	1
日本国憲法の規定する天皇制は妥当なりや	小森義峯	21
ふたたび憲法第九条について	中山健男	44
日本国憲法の効力	服部秀一	62
憲法の効力論について	相原良一	77

昭和38年 第二号 目次 定価 1,000円

帝国憲法改正草案としての佐々木、松本、憲法研究会案と

所謂八月革命説の批判	吉田一枝	1
憲法第九条・その真実の創意者		
—憲法調査会報告書「日本国憲法制定の由来」を駁砕し、マ元帥の幣原創意説を破却す—	三枝茂智	14
日本国憲法の成立について	羽田重房	51
日本国憲法の正当性		
—小林、芦部両教授に問ふ—	小森義峯	65
祭祀大権の本質及びその統治大権との関係について	三瀧信吾	90

昭和39年 第三号 目次 定価 1,000円

国体と民主主義	野口恒樹	1
天皇統治権再検討の必要		
—国体の変更を憂ふ—	松本米治	28
憲法第九条について	鈴木萬吏	51
新憲法第一条をめぐる虚構と真実	三枝茂智	63
<資料> オツプラー覚書		121

昭和40年 第四号 目次 定価 1,000円

憲法の効力	大串兎代夫	1
神道指令及びその継承としての日本国憲法の不当性について	小森義峯	19
新憲法第一条をめぐる虚構と真実(その2)	三枝茂智	45
<資料> ボツダム宣言とその創意・提案者グルー大使著		
「動乱時代」第36章、「日本国天皇と日本国の降伏」・大意		97
「幣原元首相は売国奴に非ず」(紫垣 隆)		113

昭和42年 第五号 目次 定価 1,500円

天を捨てる人民民主主義

—中華人民共和国憲法の場合—	増田福太郎	1
----------------	-------	---

法支配下の緊急措置

—英米における緊急措置を中心として— ……瀬戸山登 ……25
わが国体に反する国民主権の原理 ……小森義峯 ……55
憲法調査会の鑽石を指摘し、非日教授官僚グループの存在に及ぶ（その一）
……………三枝茂智 ……87
<資料> 降服達成に皇位制を賭けたスティムソン陸軍
長官とポッグム宣言・その権威的解説・「現役に服して」
第23章「原子爆弾と日本国の降服」大意 ……三枝茂智 ……153

昭和44年 第六号日次 定価 1,300円

—明治維新百年記念—

明治維新と憲法の機能（要旨） ……三浦信吾 ……1
日本国憲法失効の時期について
—帝国憲法と日本国憲法の法的連続性に関連して—
……………松本米治 ……13
帝国憲法第一条及び第三条における天皇の存在構造
—実定法の端緒的契機としての法理論的構造連関への
法哲学的接近に関する一素描— ……三木新 ……33
古典的国民代表制の特質
—比較憲法的考察— ……西岡祝 ……43
アメリカ合衆国における立法拒否権 ……西修 ……73
憲法調査会の鑽石を指摘し、非日教授官僚グループの
存在に及ぶ（その二） ……三枝茂智 ……105
<資料> 昭和廿一、二年の日本に就ての回想 ……三枝茂智 ……135

昭和45年10月 第七号日次 定価 800円

憲法の成立形態についての迷信 ……井上孚磨 ……1
憲法改正の発案権について ……竹花光範 ……30
新憲法の所謂定着と幣原・吉田各首相の責任
（第一部） ……三枝茂智 ……43
杉本判決（教科書裁判）批判 ……小森義峯 ……65
—大学問題特集—
大学自治の諸問題について ……三浦信吾 ……71
大学改革における学生の懲戒処分 ……土居靖美 ……78

昭和45年12月 第八号日次 定価 1,000円

日本国憲法の暫定基本法（非憲法）的性格 ……小森義峯 ……1
新憲法の所謂定着と幣原・吉田各首相の責任
（第二部） ……三枝茂智 ……12
表現の自由の優越的地位の一側面 ……梅木崇 ……30

政治学における新しい革命	伊藤勝美	45
選挙の公正を確保するために	網中政機	58
教科書裁判について	沢田竹治郎	70
現行憲法のもとにおける民法の問題点		
—特に家族の問題について—	北沢丈夫	79
公害での人名の値段の法理		
—公害に対する責任の負担のしかた—	奥貴雄	90

昭和47年 第九号日次 定価 500円

増訂・新憲法の所謂定着と幣原・吉田各首相の責任		
(第三部)	三枝茂智	1
「津地鎮祭」名古屋高裁判決の疑問点について	岩井利夫	21
私学と学問の自由	上草穎	43
憲法改正国民投票制について	竹花光範	60
憲法と安全保障	大石秀夫	83
現行憲法のもとに於ける離婚	北沢丈夫	98

昭和49年 第十号日次 定価 800円

特集 大串兎代夫先生追悼

略歴・主要業績		1
遺稿にかへて「最近の東西ドイツと日本」(講演速記)		5
弔辞	沢田竹治郎	21
	太田耕造	24
	カール・シュミット	26
追悼論文		
権威主義国家学の地位—大串説への理解—	増田福太郎	27
大串兎代夫教授の学位論文「国家権威の研究」について		
	安澤喜一郎	44
追悼文	井上孚磨	56
	佐藤通次	57
	西内雅	59
	関之	61
	中山健男	62
	松本米治	64
	三瀧信吾	71
	森三十郎	75
	小森義峯	77
	中井勝彦	79
	相原良一	81
再三SWNCC228号改憲訓令及びラウエル文書に就て		
	三枝茂智	85

昭和50年 第十一号日次 定価 800円

宝祚無窮の神勅と帝国憲法 ……………佐藤芳二郎……1
ハッシー文書の前文・戦争放棄・天皇の原案と
それに関する若干の考察 ……………犬丸秀雄……4
憲法と国際法 ……………今井威……27
明治憲法における予算の本質 ……………瀬戸山登一……45
公用徴収権の根拠・主体及び性質 ……………正木通……58

昭和53年 第十二号日次 定価 1,300円

賀表—天皇陛下御在位五十年奉祝—
憲法学会理事長 大石義雄……1
万世一系について ……………栗原薫……5
拾遺と総括 ……………三枝茂智……26
明治憲法制定当時の国体論と予算問題 ……………瀬戸山登一……40
日本国憲法と**Martial Law** ……………松岡孝安……68
韓（朝鮮）半島の二憲法について ……………秋田元三……106
新釈ポッドダム宣言 ……………佐藤芳二郎……126

昭和55年 第十三号日次 定価 900円

憲法の実態 ……………川西誠……1
日本国憲法と有事立法
—対内的諸問題に対する包括的考察— ……………佐伯宣親……7
国内法の妥当根拠と国際法
—純粋法学の一考察— ……………長谷川日出世……23
<資料> 関東大震災における国家緊急権の発動 ……………後藤新八郎……48

昭和56年 第十四号日次 定価 800円

“羽宝メモ”私考 ……………幣原道太郎……1
基本的人権の法的性質 ……………宇都宮静男……16
有事における防衛機構の問題点 ……………関根二三夫……22
スウェーデン憲法について ……………吉川智……40
憲法と情報公開 ……………山上賢一……54

昭和57年 第十五号日次 定価 1,000円

大日本帝国憲法と英国憲法との酷似性 ……………小森義峯……1
井上毅の統治思想 ……………松岡孝安……7
日本国憲法における天賦人權思想の批判的考察 ……………佐伯宣親……31
純粋法学と自然法論
—ケルゼンの自然法論批判の一考察— ……………長谷川日出世……49

<資料> 大日本国憲法草案（改憲試案）……………小 森 義 峯……80

昭和58年 第十六号日次 定価 900円

憲法学会の思い出

- 憲法学会第五十回総会記念講演— ……………大 石 義 雄 ……1
司法権の限界に関する一考察 ……………佐 伯 宣 親……10
内閣制度上の問題点 ……………吉 川 智……29
旧憲法下における重要国策の決定について ……………後 藤 新 八 郎……47

昭和59年12月 第十七号日次 定価 1,300円

議会制民主主義

- 憲法学会結成二十五周年記念講演— ……………田 上 穰 治 ……1
日米における条約の国内法的地位の相違とその
問題点 ……………浜 谷 英 博……11
新旧両憲法における財政制度の比較検討 ……………吉 川 智……36
現行憲法第九六条に関連する諸問題 ……………富 永 健……55
純粹法学と憲法変遷の概念
—規範の妥当性と実効性の一考察— ……………長 谷 川 日 出 世……72
オンブズマン制度研究序論 ……………枝 根 茂……92

昭和61年10月 第十八号日次 定価 1,100円

枢密院の機能と業績

- 天皇陛下御在位六十年奉祝記念講演— ……………諸 橋 襄 ……1
合憲的方法による憲法改正の種々相 ……………小 森 義 峯……22
人権の制限と法律の留保の関係について ……………吉 川 智……29
三権分立制に関する比較憲法的考察
—英・白・蘭・普憲法と帝国憲法を中心として— 富 永 健……50
情報公開とプライバシーの保護 ……………枝 根 茂……68
《研究ノート》日本国憲法第一条についての一考察
—天皇輕視論と廢止可能論に対する批判— ……………山 本 宏……88

昭和62年6月 第十九号日次 定価 1,200円

賀表—天皇陛下御在位六十年奉祝

憲法学会理事長 川 西 誠 ……1

枢密院会議の写真

- 枢密院物語—その栄光と終焉— ……………諸 橋 襄 ……9
—天皇陛下御在位六十年奉祝記念講演（続）—
核兵器と国法学の課題……………故大 串 兎 代 夫……27
上 野 正 英 共 訳
上 野 理 子

故大串兎代夫博士の論文について

—国家法学から国際法学へ—	相原良	57
主権の最高性	松岡孝安	68

昭和63年10月 第二十二号日次 定価 1,300円

憲法第二六条一項に所謂「教育」の意味	西尾作一	1
明治四十年軍令第一号「軍令ニ関スル件について」	後藤新八郎	24
とくに会計の特徴について	吉川智	78
ボン基本法上の庇護権序説	青山武憲	94
英米内閣の構造・機能的比較		
—その差異を中心として—	久保憲一	109

平成元年 第二十一号日次 定価 1,500円

憲法と神道	小森義峯	1
戦争権限法の問題点と最近の修正動向		
—Senta Joint Resolution 323の提出をめぐって—	浜谷英博	15
地方自治と機関委任事務	関根二三夫	34
米国における連邦権限拡大の実体		
—州際通商条項を中心として—	富永健	47
英国憲法下の君主の裁量権に就いて	阿部一夫	64

平成2年 第二十二号日次 定価1,500円

<講演>

憲法発布百年に因みて	森三十郎	1
西ドイツにおける政教分離	小林宏晨	19
法と論理		
—違憲性概念の分析の手掛りとして—	長谷川日出世	39
日本国憲法三一条の行政手続への適用についての一考察		
—特に在留外国人に対する国外退去強制手続に関して—	輔老英淳	55

法と民族精神

—F.C.v.ザヴィニーにおける歴史法学の論理—	佐伯宣親	74
イスラーム法と憲法との関係	佐藤尋生	87
憲法・教育基本法体制と私立学校法	田辺勝二	102

平成3年 第二十三号日次 定価 1,500円

<講演>

帝国憲法施行百年を偲び日本の国是を考える	小森義峯	1
地方自治の基本的課題		
—憲法上の根拠に関して—	竹内雄一郎	10

わが国における人権思想の源流

—とくに茶道と人権との関わり— ……………高 仲 東 磨……24

Morrion v. Olson 事件合衆国最高裁判所判決

—大統領の公務員解任権と独立行政機関— ……………駒 村 圭 吾……36

米国大統領府の確立とその発展

—大統領補佐官制度を中心として— ……………荒 屋 勝 寿……52

平成4年 第二十四号日次 定価 2,000円

<講演>

アメリカにおける象徴的表現

—国旗焼却事件について— ……………山 岡 永 知 ……1

医療と人権

—生存権保障と医療基本権構想— ……………長 吉 洋 司……21

アメリカ合衆国における政教分離の新展開 ……………村 瀬 正 典……37

学習権と教育を受ける権利 ……………田 辺 勝 二……55

Legitimität, Orthodoxie und Richtigkeit im Buch von der wahren

Gott-Kaiser-Herrschafts-Linie, (Jinnô-Shôtô-Ki) ……………相 原 良 一……87

平成5年 第二十五号日次 定価 2,000円

私の国体観

—小林節教授の国体観への批判を含む— ……………小 森 義 峯 ……1

帝国憲法と日本国憲法に於ける天皇の地位 ……………三 瀧 信 吾……15

医療と人権 ……………山 上 賢 一……37

憲法と地方自治制度

—日本とイングランドの日常生活圏行政を中心として—
……………山 田 光 矢……47

現行憲法下における天皇の「政治的」意味と影響力 ……久 保 憲 一……61

米国連邦裁判所における憲法訴訟遅延に関する法理

—Exhaustion of State Remediesを中心として— ……新 田 浩 司……79

現代型緊急権の特徴について

—フランス憲法第16条と戒厳・緊急命令— ……………東 裕……95

平成6年 第二十六号日次 定価 2,800円

国際法の国内法への展開

—一つの立法過程論試論— ……………今 井 威 ……1

基本的な人権論再検討 ……………小 林 昭 三……17

新憲法制定に関与した占領軍関係者について

—ヘブライ大学教授ベン・アミー・シロニー博士の所説—
……………仲 山 順 一……55

国連平和活動と日本国憲法	小林宏晨	71
昭和十五年の憲政	後藤新八郎	137
ドイツ連邦政府草案における夫婦の氏に関して	宮林茂樹	175
英国主の主権とその本質	今里文隆	193

平成7年 第二十七号日次 定価 3,300円

スウェーデン象徴君主制の成立と構造	下條芳明	1
靖国神社公式参拝違憲訴訟をめぐる諸判例の検討	奥村文男	21
政治・行政二分論の展開と議会拒否権	関根二三夫	39
「行政手続法」論	梅木崇	57
“自己決定権”と家族秩序	八木秀次	41
医療行為とデュープロセス		
—とくに臓器移植を中心として—	輔老英淳	89
1990年代における世界の憲法動向	西修	105
政党国家論のための予備的考察		
—憲法政治学的接近—	小林昭三	135
現行憲法における政教分離原則の論理		
—相対分離説の分析と展開—	松村比奈子	157

平成8年 第二十八号日次 定価 3,300円

ヴァイシー政権成立期の憲法政治		
—危機における政治指導を考える—	東裕	1
定住外国人の参政権	高乗正臣	17
外国人の参政権		
—参政権付与の論理的批判的検討—	大矢吉之	31
ラテンアメリカの民主化と立憲主義	池田実	53
日本国憲法における国家緊急権	富永健	71
首相公選制再装		
—制度的特徴“洗い張り”の試み—	小林昭三	85
首相公選制と國體		
—首相公選論の批判的考察—	慶野義雄	103
基本的人権の理念と現実		
—信教の自由と公教育を中心に—	田辺勝二	115
シンポジウム「外国人の参政権」質疑応答の要略		135

平成9年 第二十九号日次 定価 3,300円

特集 憲法50年—日本国憲法は何であったか—		
大石義雄博士の憲法学	土居靖美	1
大西邦敏「新日本国憲法草案」の思想		
—それは大西比較憲法学の結晶である—	小林昭三	15

清宮憲法学の本質（要旨）	名 雪 健 二	31
田上憲法学の実像	高 乗 正 臣	39
戦後日本の憲法原理		
—官澤俊義と尾高朝雄との主権論争を素材として—	竹 内 雄 一 郎	57
象徴天皇制と天皇の公的行為	下 條 芳 明	73
包括的基本的人権の保障根拠に関する一考察	抱 喜 久 雄	95
シンポジウム「戦後日本の憲法学」質疑応答の要略		111
シンポジウム「日本国憲法の規範と現実」質疑応答の要略		117

平成 10 年 **第三十号日次** 定価 3,300円

特集 憲法50年—日本国憲法は何であったのか— II

論 説

特別報告 清水澄博士の法制・憲法御進講	所 功	1
憲法改正論の課題と展望	慶 野 義 雄	17
憲法調査会以降の改憲動向	奥 村 文 男	29
憲法改正の限界	吉 田 直 正	59
愛媛玉串料訴訟最高裁判所の問題点	百 地 章	75
国・地方行政関係と機関委任事務	下 條 芳 明	101
憲法第二五条第二項における社会福祉の概念と地域福祉	阿 部 一 夫	121
シンガポール憲法における多民族的制度の展開		

 —グループ代表選挙区制を中心に— 野 畑 健 太 郎 137

平成 11 年 **第三十一号日次** 定価 3,300円

特集 国会の権限と実情

論 説

国会の権限と実情—議会制の危機の文脈で—	小 林 昭 三	1
立法機関としての国会	前 田 英 昭	25
二院制議会の現状と諸問題—スペインの場合—	池 田 実	43
政党の憲法的融合—現代政党国家論再考—	齋 藤 康 輝	61
特別講演 平和憲法の醸成した偽善と欺瞞の風土	勝 田 吉 太 郎	77
日本国憲法における分配問題	吉 田 和 男	85
現代医療の法的課題		
—とくに診療情報開示に関して—	輔 老 英 淳	107
	チャンドラ・ムザファー	
人権二論	佐 伯 宣 親 訳	123
追悼 相原良一先生		
故相原良一先生を偲んで	土 居 靖 美	147
相原良一先生との思い出	小 森 義 峯	151

平成12年 第三十二号目次 定価3,300円

論 説

特別報告 「近代憲法論」再検討	小林昭三	1
半大統領制の展開		
— 国家元首の公選化・実権化の傾向 —	山崎博久	23
社会権の法的性格と英国の社会福祉	阿部一夫	41
民法改正時の「家」制度廃止論争	宮林茂樹	53
日本国憲法13条前段の「個人の尊重」について	山崎将文	71
E・パークのフランス革命批判と「保守」の思想	真嶋正己	99
国際法と国内法との関係		
— 補完関係説の構築をめざして —	斎藤洋	115
フィジーの国民統合と「複数政党内閣」制	東裕	129
ごあいさつ		
— 理事長就任に当たって憲法学会総会で —	小林昭三	145

平成13年 第三十三号目次 定価 3,300円

< 講演 >

特別報告 議会は国の主権の制限を認めうるか?	土居靖美	1
「岸」憲法調査会（旧自由党）について	三浦信吾	17
論 説		
憲法尊重擁護義務		
— 公務員の服務宣誓を中心として —	新田浩司	35
個人情報保護制度の比較法的考察		
— 米国・EU間におけるセーフ・ハーバー協定を中心に —		
.....新保史生	53	
公民科教育の憲法学的考察	岸本正司	75
占領下の教育制度改革		
— 教育基本法の制定と教育勅語の廃止をめぐる —		
.....狩生茂	91	
慣習国際法の国内的適用について	野澤基恭	107
わが国「精神保健福祉法」における所謂「精神障害者」の処遇と人権		
.....輔老英淳	119	

平成14年 第三十四号目次 定価 3,300円

論 説

「権利宣言」再検討		
— 「自己決定」概念の幻想をめぐる —	新庄勝美	1
自己決定権		
— 学説の整理とその検討 —	高乗正臣	13

自己決定権の批判的考察

—判例の考察を通して— ……奥村文男…27
患者の自己決定権をめぐって

—判例の整理とその検討— ……野畑健太郎…47

子どもの性的自己決定権 ……山崎将文…61

党議拘束と「全国民の代表」 ……齋藤康輝…77

宗教と法 ……エルンスト・ロコバント…89

司法制度改革の光と影 ……吉田直正…101

フランス王政復古期における君民協約的憲法観について
……………樋口雄人…111

平成 15 年 第三十五号日次 定価 3,300円

論 説

ドイツ基本法100条1項における具体的規範審査手続
……………高澤弘明…1

特別報告 英国憲法に生きる中世風

—議會制と法の支配の素地— ……小林昭三…17
政治・行政関連論と行政の外在的統制

……………関根二三夫…37

行政権概念の理解に見る統治機構論の展開

—帝国憲法から日本国憲法へ— ……渡邊 互…59

帝國憲法と現行憲法における所謂「最高機関」について

—議會と天皇の地位の不変性— ……慶野義雄…75

官民分担論とその規制の変容に関する一考察

—ニュージーランド・ポストのコーポラティゼーションを中心として—
……………福島康仁…93

追悼文

三瀧信吾先生を偲んで ……竹内雄一郎…101

平成 16 年 第三十六号日次 定価 3,300円

論 説

天皇機関説事件から国家総動員体制へ

—明治憲法下における法治主義思想崩壊の一断面として—
……………菅谷幸浩…1

一九世紀スペインの立憲主義と「国体」論

—カノバスの思想と復古王政憲法（一八七六年）を中心に—
……………池田 実…29

現代国際法における国際慣習法をめぐる諸問題

……………野澤基恭…49

イギリス憲法政治史における内閣統治制の成立と変容

……………下條芳明…65

神道と天皇の関係について	エルンスト・ロコバント	85
法システムの基礎づけと「絶対者」		
—カール・シュミットとH・L・A・ハート—	眞次 宏典	101
現代人権論の批判的考察		
—思想史的背景を踏まえて—	佐伯 宣親	121
追悼報告		
憲法の歴史的連続性とその位相	竹内 雄一郎	143

平成17年 第三十七号日次 定価 3,300円

論 説

憲法と有事法制

—サイバー攻撃からの国民保護—	安 保 克 也	1
-----------------	---------	---

地方分権と道州制

—憲法学の視点から—	渡 邊 互	21
------------	-------	----

特別報告

日本国の独立時における吉田内閣の憲法政策について

	飯 田 忠 雄	39
--	---------	----

政党の立憲化

—その課題と展望—	齋 藤 康 輝	61
-----------	---------	----

近代人権論における自律的人間観の起源	山 崎 博 久	75
--------------------	---------	----

自律的個人と家族	宮 林 茂 樹	99
----------	---------	----

太平洋島嶼国における国家・個人・人権

—パシフィックウェイ(Pacific Way)からの問いかけ—	東 裕	121
---------------------------------	-----	-----

平成18年 第三十八号日次 定価 3,300円

論 説

国家の教育権に関する一考察	高 乗 智 之	1
---------------	---------	---

象徴君主制憲法の現代的展開

—象徴的国家元首論の観点から見た日本とスウェーデンとの比較考察—	下 條 芳 明	29
----------------------------------	---------	----

会計から財政へ

—日本国憲法における財政制度の本質—	吉 田 直 正	59
--------------------	---------	----

シラク大統領期のフランスにおける憲法政治の諸問題

	樋 口 雄 人	81
--	---------	----

憲法にみる伝統と権力

—憲法構造の持つ歴史的意義—	竹 内 雄 一 郎	103
----------------	-----------	-----

英国不文憲法の持ち味探求	小 林 昭 三	123
--------------	---------	-----

平成19年 第三十九号日次 定価 3,300円

論 説

「公共の福祉」概念の再検討	高 乗 正 臣	1
太平洋島嶼諸国憲法からみる「公共の福祉」概念 —個人主義なき社会からの問いかけ—	東 裕	25
第九条の解釈	齋 藤 洋	51
統治機構の近代的原理の有効性 —議院内閣制と大統領制—	山 崎 博 久	75
「個人情報保護の本旨」	新 保 史 生	101
シンポジウム質疑応答要旨		121

平成20年 第四十号日次 定価 3,300円

竹花光範理事長追悼号

まえおき	小 林 昭 三	1
------------	---------	---

遺 稿

憲法改正の内容的限界説について —その批判的考察—	竹 花 光 範	3
研究業績		31

論 説

ドイツ連邦憲法裁判所の抽象的規範審査手続	高 澤 弘 明	35
日本国憲法の成立をめぐる法的問題	村 松 伸 治	53
二つの憲法(constitution)概念とその思想的基盤	長 谷 川 史 明	77
日本における近代国際法の発展	野 澤 基 恭	97
日本国憲法第二四条の批判的考察 —かくて民法から「家族」の語がすべて削除された—	森 林 稔	113
ワイマール憲法体制とカール・シュミット —憲法第四八条解釈と大統領独裁論を中心に—	浜 田 泰 弘	141
資 料 近現代「皇室制度」の形成史と問題点	所 功	161